

学内連携の強みを活かした OA加速化に向けての取り組み ～お茶の水女子大学の事例～

2024年11月6日

図書館総合展フォーラム「オープンアクセス加速化事業 中間報告会」

西村 梨花（お茶の水女子大学）

目次

01
本学の概要

02
全体イメージ図

03
具体的な
事業内容

04
今後の
計画

01 本学の概要

お茶の水女子大学とは（2024年5月1日時点）

- 学部・大学院

学部 ： 文教育学部、理学部、生活科学部、共創工学部（2024年4月新設）

大学院 ： 大学院人間文化創成科学研究科

- 学生、教職員数

学部生 ： 2,060名

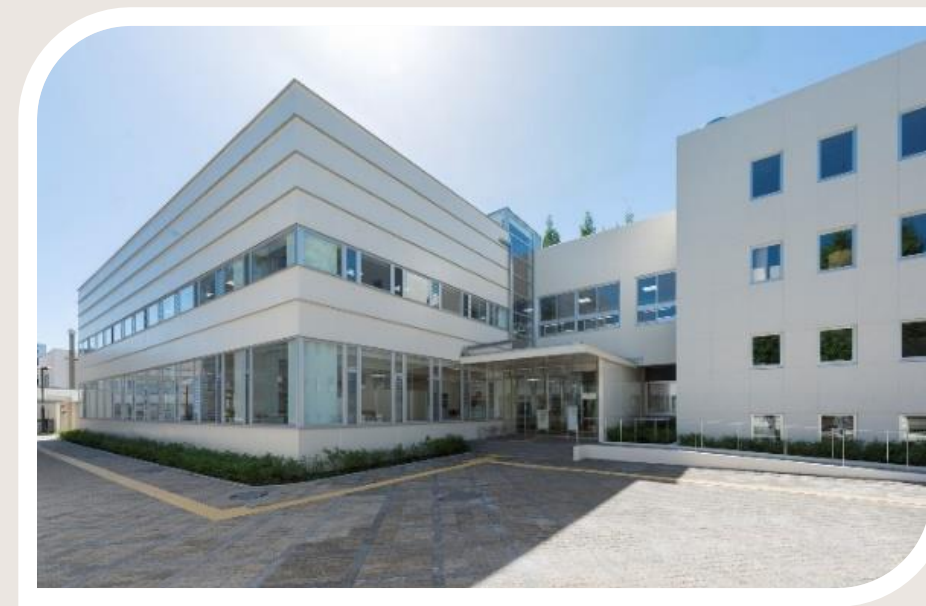
院生 ： 816名

教職員 ： 486名

- 図書・情報課（附属図書館）

職員数（事務補佐員含む）： 20名

（うち機関リポジトリ実務担当5名 *兼務）



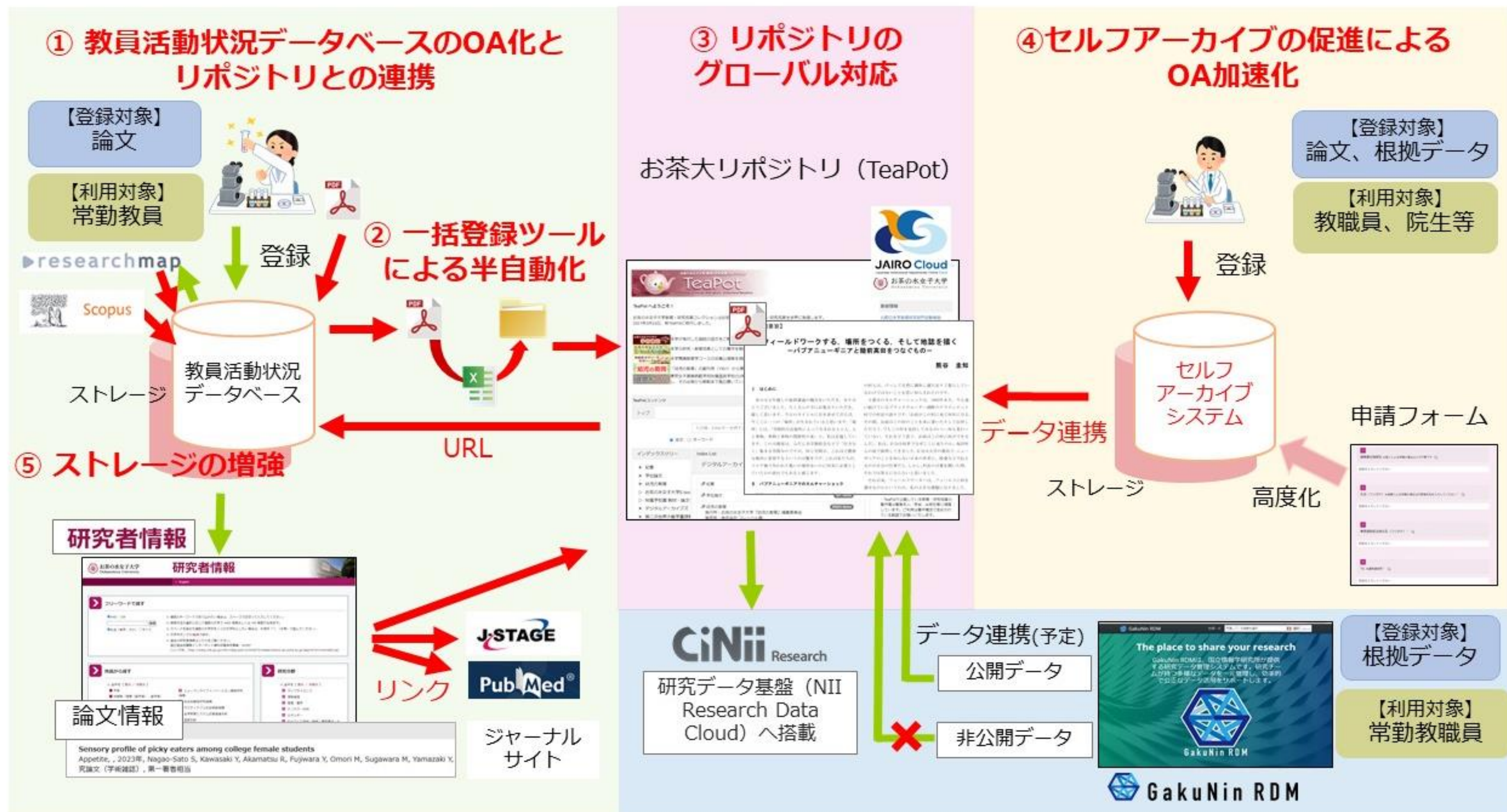
01 本学の概要

研究データ管理支援における学内体制

- RDMタスクフォース
2021年6月に設置、2025年度末までの期限
- 青字は教員

担当	所属・役職	人数
委員長	産学連携・イノベーション担当副学長	1名
知的財産権, 外部資金プロジェクト コンプライアンス	リエゾン・URAセンター	欠員
ムーンショット事業に関する情報共有	ムーンショット型研究開発制度プロ ジェクトマネージャー	1名
全学の情報基盤の整備	情報基盤センター	1名
データマネジメントプラン（DMP）の導入 データマネジメントポリシー検討	研究・産学連携課	2名
GakuNin RDMの試用, マニュアル整備 リポジトリ, RDMシステムの予算検討	図書・情報課	6名
全学の広報関係（オブザーバー）	企画戦略課（広報担当）	2名

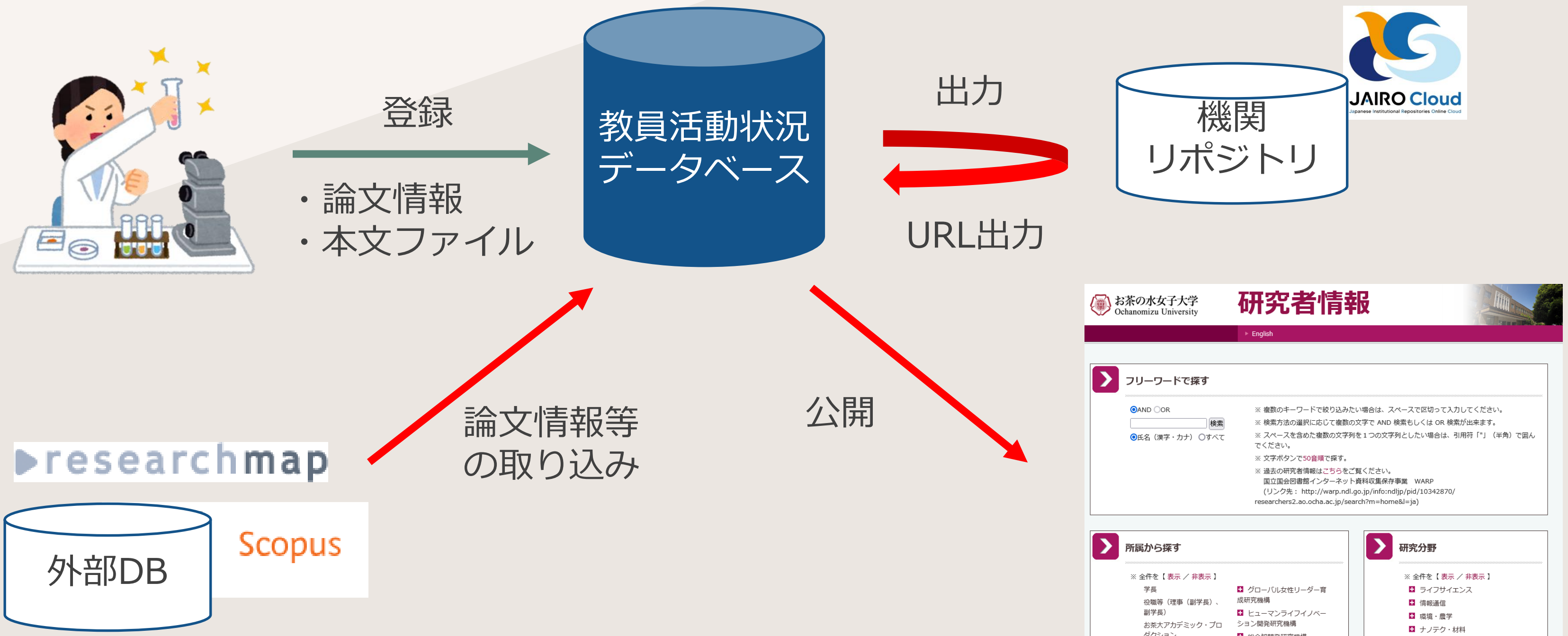
02 全体イメージ図



03 具体的な事業内容

①教員活動状況データベースのOA化とリポジトリの連携

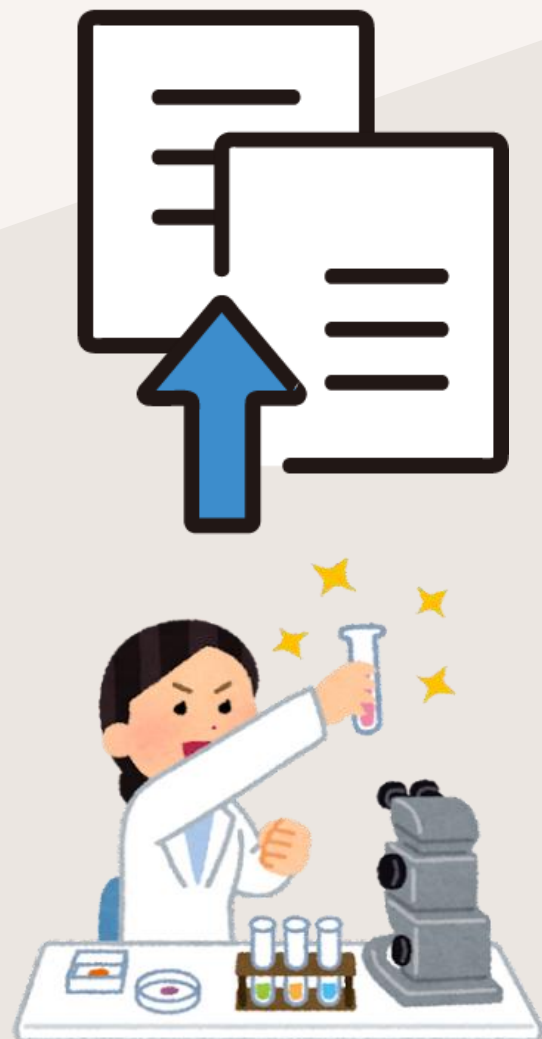
【担当：企画戦略課（評価担当）、研究・産学連携課、図書・情報課】



03 具体的な事業内容

②一括登録ツールの構築：リポジトリ登録作業の効率化 【担当：図書・情報課】

メタデータ
(Excelファイル)



読み込み



マクロ機能を用いた
一括登録ツール

TSVファイル



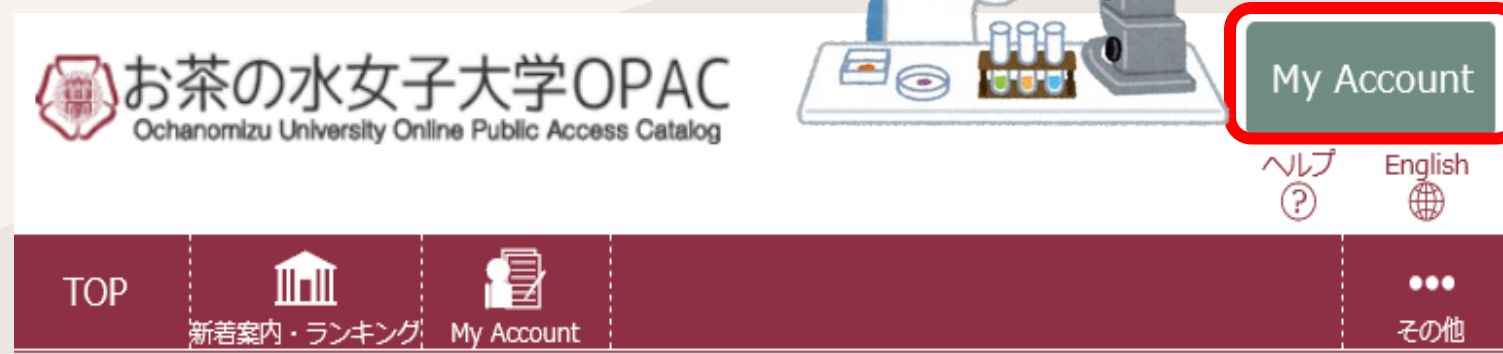
登録



03 具体的な事業内容

③セルフアーカイブ機能：リポジトリの高度化 【担当：図書・情報課】

教職員、**大学院生**
代理人による登録も可能



申請

教員評価DBには
登録されない研究
データ等もOK

researchmap

- Crossref
- JaLC
- Scopus

その他の
外部情報源

- **researchmap会員IDの紐づけ**
- メタデータの取得

セルフアーカイブUI

RMID : XXXXXXXXX

氏名 :

登録候補データ :

1. タイトル, 作成者,
発行年月日, 収録誌, 巻号,
資源タイプ, DOI,
取得元, 更新日……
2. タイトル, 作成者,
発行年月日, 収録誌, 巻号,
資源タイプ, DOI,
取得元, 更新日……

04 今後の計画

令和7年3月
導入

取り組み内容	スケジュール
1. 教員活動状況データベースと リポジトリの連携	令和6年中：教員活動状況データベースの改修
2. 一括登録ツール（マクロ）の構築	令和7年1月まで：要件定義、設計および開発 令和7年3月上旬：運用テスト、不具合修正
3. リポジトリのセルフアーカイブ機能	令和7年1月まで：要件定義、設計および開発 令和7年3月上旬：運用テスト、不具合修正

他部署との連携を活かしたサポート

- 学内の広報強化
HPやリーフレット等で申請者に周知を行う
- 今後のサポート体制の見直し
2025年度末でRDMタスクフォースの設置期限は終了、今後の見直しが必要

学内連携の強みを活かした OA加速化に向けての取り組み ～お茶の水女子大学の事例～

2024年11月6日

図書館総合展フォーラム「オープンアクセス加速化事業 中間報告会」

西村 梨花（お茶の水女子大学）